

うれしの掲示板

教材文化資料館平成23年度前期展 嘉納治五郎に学ぶ—体育の継承と発展—

柔道の創始者で、優れた教育家でもあった嘉納治五郎の教育理念に焦点を当て、近代日本における体育思想の生成と展開、その継承と発展を検証します。柔道をはじめとする武道の世界的なスポーツ競技化と、本来の武道が有する豊かな文化性の関係を見つめ直し、体育とはどうあるべきかを考えます。

展示は本学教員の監修による二部構成で、筑波大学や講道館、京都市学校歴史博物館などからも資料を取り寄せました。前章「体育のはじまり—明治の体操—」では、明治初期の普通体操やスウェーデン体操の再現アニメ、実写動画



どの資料から「体操」の歴史をたどります。後章「嘉納治五郎と体育」では嘉納治五郎が残した言葉や教育理念を解説し、今後の体育授業を考えるうえで参考になる資料を並べています。

開催期間／8月30日④まで

場所／教材文化資料館(附属図書館内)

平日8:30~22:00、土曜9:00~17:00、日曜・祝日13:00~17:00

※8月の土曜、日曜は閉館。開催期間は変更する場合がありますのでホームページでご確認ください

📍兵庫教育大学教材文化資料館 ☎0795・44・2362

公開講座の受講生を募集

教員養成大学の特色を生かした講義内容で、皆さんの多様な学習意欲にお応えします。

📅=開講日時 📍=場所 👤=対象 📄=定員 💰=受講料 ✂=締め切り

水あそび教室

水中での鬼ごっこやマット遊びなどを楽しめます。

📅 7月30日④14:00~16:00

📍 加東キャンパス

👤 小学5、6年生※25メートル以上泳げること

📄 20人

💰 無料

✂ 7月19日④まで(先着順)

絵画制作

絵画の制作(人物画と静物画)を通して画法や画材の知識を深め、表現、創作の楽しさを味わいます。

📅 9月17日④18日④24日④25

日④(全4回)13:00~18:00

📍 加東キャンパス

👤 一般

📄 20人

💰 8,500円

✂ 8月31日④まで(先着順)

アメリカ文学とアメリカン・ドリーム

スタインベックやフィッツジェラルドら20世紀のアメリカの文学者たちの作品を通して、アメリカン・ドリームについて検討します。

📅 9月24日④13:00~14:30

📍 神戸サテライト

👤 一般、現職教員

📄 30人

💰 無料

✂ 9月12日④まで(先着順)

©申し込み・問い合わせ

兵庫教育大学地域交流推進センター

☎0795・44・2053 ☎0795・44・2320

✉office-renkei-r@hyogo-u.ac.jp

た なかりょう
田中瞭さん
生活・健康系コース3年

う え き り か
上木里香さん
学校心理系コース4年

↓上木さんは主に新入部員を指導。バレー独特の動きを身に付けさせる



めて身振り手振りでアドバイスする。コーチになって1年。最近は声を掛けるコツをつかんだと話す。「『分かった?』と聞くのはタブーです。子どもは自信がなくても遠慮して『はい』と答えますから。十分に理解しているかどうか、表情やしぐさをちゃんと見ないといけません」

子どもに対する観察力は兵教生ならではの臼井さん言う。「子どもをよく見てくれています。練習後に『元気がなさそうでしたが、学校で何かありましたか』と保護者に尋ねたり。そのあたりはさすがですね」

チームの目標は、昨年全日本優勝した東条ジュニアバレーボールクラブに市の大会で勝利すること。今のところ練習試合では1勝1敗という。「勝つ喜びを味わわせてあげたい。子どもたちの力を引き出せるよう、しっかり指導していきたいです」。力強い口調には、指導者としての自信の深まりとチーム力への確かな手応えを感じさせた。



↑「一人でも多くの子が中学、高校とバレーを続けてくれたら」と田中さん

三草ジュニアバレーボールクラブ

うれしの
交差点

兵庫教育大学と地域の交流ページ

練習を見守る監督の臼井さん(左)と田中さん↓



コーチとしての成長が チーム力の強化につながる

加 東市立三草小学校
の女子児童で結成
する「三草ジュニアバレー
ボールクラブ」は地元大会
の常連。週2回の練習に
は、兵教大男子バレーボー
ル部の田中瞭さん(生活・健
康系コース3年)とマネー
ジャーの上木里香さん(学
校心理系コース4年)が指
導に向いている。

夕方6時半。田中さんの前に子どもたちが横一列に並び、真剣な面持ちで練習内容に耳を傾ける様子に、監督の臼井崇さんは目を細める。「子どもらにとつて、田中コーチは頼れるお兄さんという存在ですね」
チームの監督には6年生の保護者が就くのが慣例。しかし、バレー経験がなければ指導は難しいことから、8年前、兵教大の男子バレー部にコーチを依頼。田中さんは昨年7月に先輩から引き継いだ。「プレーヤーとして、一人でも多くの子がバレーに興味を持つ機会になるのならと引き受

けました」

自分がバレーを始めたころのような練習を課せば大丈夫だろう。そんな漠然としたイメージは初日で崩れた。「僕は中学でバレー部に入りましたが、年齢や男女の筋力の差は結構大きいなど。パスやレシーブといった基本を身に付けるまでに、意外と時間がかかると思いました」

戸惑う新コーチを支えてきたのが上木さんだ。1年生の時からアシスタントとして同行している彼女は、田中さんと一緒に練習メニューを考えるとともに、子どもたちのメンタル面のサポート役も担う。「男性コーチでは女の子の気持ちなど気づきにくい部分もあるので注意深く見ています」
試合が近づけば紅白戦なども取り入れるが、通常は基本練習が中心。田中さんは正確なコントロールで強いボールを打ち続け、子どもたちは必死で拾う。時折、手を止



練習は水曜夜と土曜の朝～夕。土曜は部活を終えて午後から指導しているという↑